

令和7年度第2回 基幹相談支援センター等連絡会議 / 研修会

第1部のみ、第2部のみのお申し込みも可能です。

【第1部】基幹相談支援センター等連絡会議

開催時間：9:30～11:45（予定）

対 象 者：①基幹相談支援センター職員並びに相談支援専門員
②これから基幹相談支援センターを受託予定の事業所職員並びに相談支援専門員
③主任相談支援専門員、委託相談支援事業所相談支援専門員
④市町村ご担当者 等

受講定員：100名

内 容：県内基幹相談支援センターの実践報告（2市を予定）

行政説明

令和7年度相談支援従事者研修実習について

意見交換・情報交換

※相談支援従事者研修の実習説明会を8/29にオンラインにて開催予定ですが、今回の会議の中で同じ内容をお話させて頂く予定です。

【第2部】基幹相談支援センター等研修会

開催時間：13:30～16:30（予定）

対 象 者：第1部と同じですが、事例を用いた演習形式になりますので、事例をご用意できる方に限ります。

受講定員：50名



こんどう なおじ

講師 **近藤 直司**先生

（経歴）

東海大学医学部卒。山梨県立精神保健福祉センター所長、山梨県都留児童相談所所長、東京都立小児総合医療センター児童・思春期精神科部長、大正大学心理社会学部教授を歴任

（現在の資格・役職）

精神科専門医、大正大学名誉教授

相談支援専門員のためのアセスメント研修

相談支援においては、専門職として根拠に基づいた見立てが必要です。その方法の一つとして「生物－心理－社会モデル」の考え方があります。これは新しいカリキュラムになった相談支援従事者初任者研修の中にも位置づけられ、茨城県でも令和3年度の研修から取り入れております。

「生物－心理－社会モデル」を書籍等で提唱され、国の相談支援従事者指導者養成研修等で講師としてご活躍になられている近藤直司先生を当協会主催研修にお招きし、地域の第一線で奮闘されている皆さんと共に、今一度アセスメントの基本に立ち返る機会として、今回の研修を企画しました。